

教宣 せぶん

地方も頑張るポスティング

塩尻駅基点に600枚

手間と時間をかけた一軒家へのポスティング

3月28日、6回目の「外勤支部全国一斉ビラ・ポスティング」をJR塩尻駅基点に行いました。大規模な集合住宅などまったくない街ですが、あえてマンションやアパートは避け、一軒家中心に、時間をかけてていねいにポスティングしました。いままでの反省から、長時間ぶっ通しの行動は体に負担が大きいためやめることにし、早朝から時間帯を分けて、合計600枚をポスティングしました。状況に応じて、臨機応変に対応できることが一人ポスティングの強みです。間隔を置いて行ったせいか、疲労度が違いました。

住宅地をポスティングしていると、超年代ものの旧東京海上の看板を掲げているお家がありました。現在は代理店業を営んでいる感じはありませんでしたが、飯田市の旧日動火災の代理店の看板と言い、新しいものをこぞって先取りしていく時代だからこそ逆に、歴史と伝統を感じさせる古いものに目が奪われます。こういった古いものも尊重していく感覚を経営者が備えていれば、当社はもっと、代理店さんをはじめとしたステークホルダーの方々から信頼される会社になるはずですよ。

駅周辺の商店街や住宅地など、くまなくポスティングをおこなったためか、さっそく塩尻市をテリトリーとしている代理店になった先輩からビラについて連絡がありました。更新に行った得意先で、ビラについて詳しく尋ねられたとのことでしたが、反響の大きさを感じました。先輩からもエールをいただきました。

大都市圏と違い、地方のポスティングでは枚数を伸ばすことはできませんが、手間と時間をかけた一軒家へのポスティングは、1枚のビラの注目度が違うはずです。これからも、量より質を重視したポスティングを続けていきます。